

第2学年 国語科学習指導案

平成24年9月11日（火）第5校時

練馬区立南田中小学校

第2学年2組 26名

指導者 福嶋 千歳

- 1 単元名 「友だちっていいな」と思う場面をポスターにしよう
教材名 「お手紙」（光村図書2年下）

2 単元の目標

- ・場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。
- ・文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うことができる。

3 単元の評価規準

【国語への関心・意欲・態度】

- ・物語に描かれている世界に浸りながら、登場人物の行動を中心に、「友だちっていいな」と感じる場面を見つけたりしている。

【読む能力】

- ・場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいく。
- ・文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の思いや考えをまとめたり、発表し合ったりしている。

【言語についての知識・理解・技能】

- ・文の中における主語と述語との関係に注意して文章を読んでいる。

4 単元について

(1) 児童の実態

2年生は、7月に「スイミー」の学習を行い、同じ作者の作品を並行読書し、自分の好きな作品を選んで「登場人物に手紙を書こう」という言語活動を行った。その結果、登場人物の行動や場面の様子について想像を広げながら読む力を高めてきた。

しかし、子供たちは叙述に基づいて、場面の様子を読み取ったり、友達の意見に耳を傾け、自分の意見とのちがいや共通点を見つけたりして読むということについては課題が残っている。

そこで、本単元では「友達」という観点を中心に叙述に基づいて場面の様子について読み取ったり、自分の考えと友達の考えを比べながら読みを深めていける児童を育てたい。

(2) 単元設定の理由

上記の児童の実態を踏まえ、『友達っていいな』と思う場面をポスターにしよう」という単元を設定した。

学習材「お手紙」はがまくんとかえるくんの二人の会話や行動を中心に描かれた作品である。そして、二人の“友達”という関係が作品の主題となっている。

そこで、“友達”とはどんなものなのか、シリーズ作品を通して子供たちに考えさせ、自分と重ねながら物語を身近に感じさせたい。

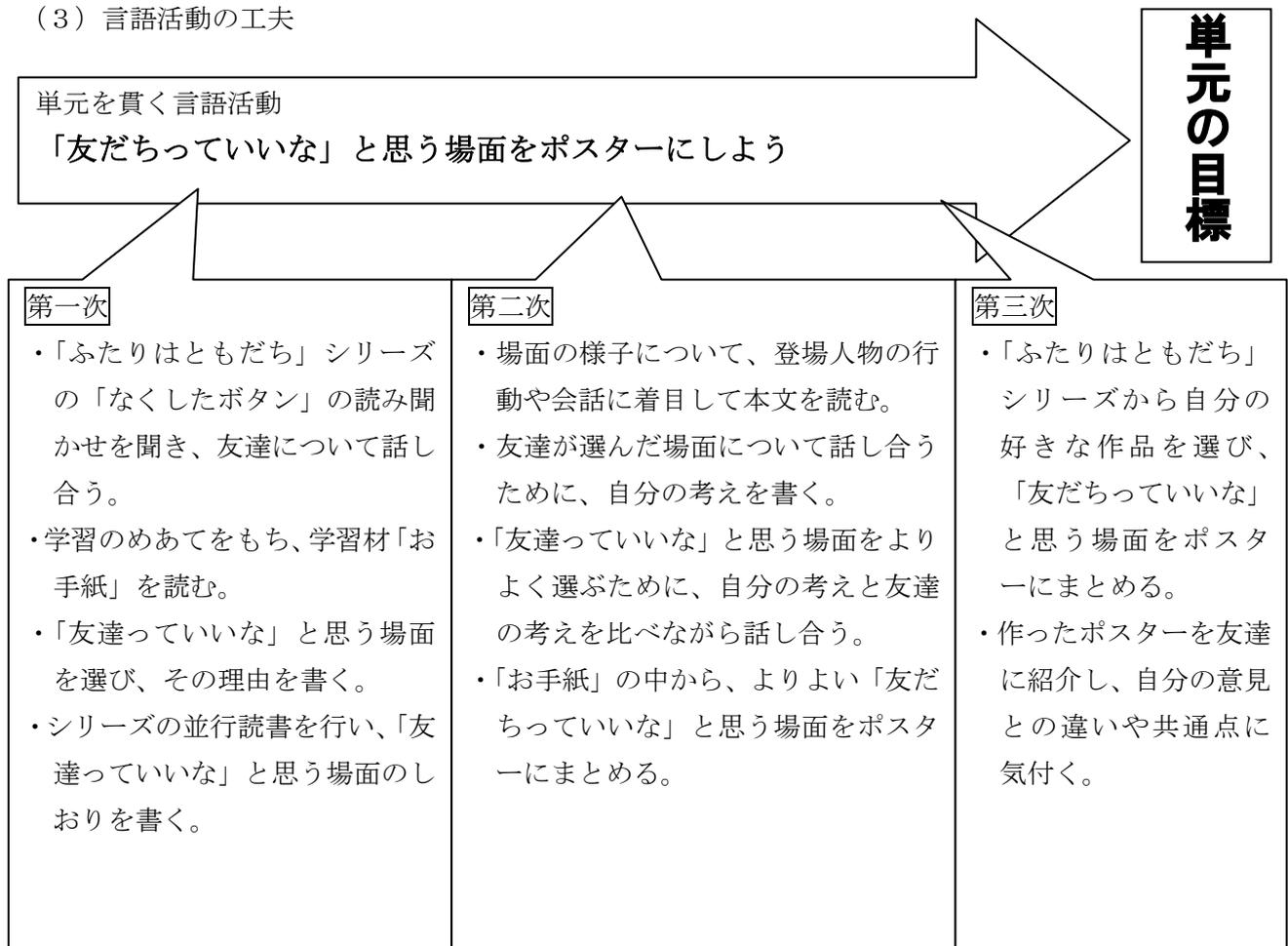
本単元では、学習材「お手紙」を読み進めていくだけでなく、「ふたりはともだち」シリーズを並行読書し、自分が選んだシリーズ作品の中から、がまくんとかえるくんの姿を通して『友達っていいな』と思う場面を選び、ポスターをつくる」という言語活動を行う。

一次では「友だちっていいな」と思う場面を見つけて、「なぜその場面を選んだのか」という自分の考えをもたせる。その児童の考えをもとに課題を設定し、二次では自分の考えを発表するだけでなく、友達の考えと比べて話し合いをしたり、叙述に戻って読み返したりしながら、よりよい「友達っていいな」と思う場面を選択させていく。

二次での読みを生かして、三次では並行読書をしてきた「ふたりはともだち」シリーズの中から自分の好きな作品を選び、「友達っていいな」と思う場面を選んでポスターにする言語活動を行う。

以上のような単元を設定することで、目標としている「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む力」と「文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合ったりする力」を身につけさせたい。

(3) 言語活動の工夫



5 指導計画（全12時間 本時 6/12）

	時	学習活動	主な指導事項	★評価 ☆支援
第一次	1	○教員の読み聞かせを聞く。（「なくしたボタン」） ○友だちについて話し合う。 ○ポスターのモデルを見て、学習の目当てをもつ。	・場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。	☆図書館支援員にシリーズ作品を準備してもらう。 ☆「なくしたボタン」を読んで「友達っていいな」と思う場面のポスターのモデルを示し、意識づけする。 ★「友だちっていいな」と思う場面について登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げながら読んでいる。 (観察、発言)
	「友達っていいな」と思う場面をポスターにしよう			
	2	○「ふたりはともだち」シリーズを並行読書する。 ○しおりの書き方を知る。 ○読んだ作品の「友達っていいな」と思う場面にしおりをはさむ。	・場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。	☆読んだ作品の中からポスターにする場面を選ぶという意識づけをする。 ☆しおりのモデルを示す。 ★「友だちっていいな」と思う場面について登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げながら読んでいる。 (観察、発言、ワークシート)
3	○学習材「お手紙」の読み聞かせを聞く。 ○「友達っていいな」と思う場面を選び、その理由を書く。	・場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。	☆ワークシートの書き方のモデルを示す。 ☆児童が選んだ場面をもとに学習課題を設定する。 ★「友だちっていいな」と思う場面について登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げながら読んでいる。 (観察、発言、ワークシート)	
第二次	4	○「かえるくんががまくんの家をたずねてがまくんを心配する場面」を読み取る。 ○友達が選んだ場面について、話し合うために自分の考えを書く。 ○友達の考えを聞き、自分の考えと友達の考えをくらべるために話し合う。	・場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。 ・文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。	☆「ふたりとも」という言葉に着目し、がまくんもかえるくんもかなしいということをおさえる。 ★「友だちっていいな」と思う場面について登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げながら読んでいる。 (観察、発言、ワークシート) ★文章の内容と自分の考えを結びつけて「友だちっていいな」と思う場面について話し合っている。 (発言、ワークシート)

5	<p>○「かえるくんががまくんにお手紙を書き、かたつむりくんをお願いする場面」を読み取る。</p> <p>○友達が選んだ場面について、話し合うために自分の考えを書く。</p> <p>○友達の考えを聞き、自分の考えと友達の考えをくらべるために話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。 ・文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。 	<p>☆かえるくんががまくんにお手紙を書いた理由や、お手紙をかたつむりくんに頼んだ行動について考えさせる。</p> <p>★「友だちっていいな」と思う場面について登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げながら読んでいる。 (観察、発言、ワークシート)</p> <p>★文章の内容と自分の考えを結びつけて「友だちっていいな」と思う場面について話し合っている。 (発言、ワークシート)</p>
6 本 時	<p>○「かえるくんががまくんにお手紙を待つことをすすめている場面」を読み取る。</p> <p>○友達が選んだ場面について、話し合うために自分の考えを書く。</p> <p>○友達の考えを聞き、自分の考えと友達の考えをくらべるために話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。 ・文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。 	<p>☆かえるくんのがまくんを励ます言葉や行動について考えさせる。</p> <p>★「友だちっていいな」と思う場面について登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げながら読んでいる。 (観察、発言、ワークシート)</p> <p>★文章の内容と自分の考えを結びつけて「友だちっていいな」と思う場面について話し合っている。 (発言、ワークシート)</p>
7	<p>○「かえるくんががまくんにお手紙を書いたことを伝える場面」を読み取る。</p> <p>○友達が選んだ場面について、話し合うために自分の考えを書く。</p> <p>○友達の考えを聞き、自分の考えと友達の考えをくらべるために話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。 ・文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。 	<p>☆お手紙の内容を注意深く読ませ、「親愛なる」「親友」という言葉に着目させる。</p> <p>☆「ふたりとも」という言葉に着目し、がまくんもかえるくんもしあわせな気持ちだったことをおさえる。</p> <p>★「友だちっていいな」と思う場面について登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げながら読んでいる。 (観察、発言、ワークシート)</p> <p>★文章の内容と自分の考えを結びつけて「友だちっていいな」と思う場面について話し合っている。 (発言、ワークシート)</p>

	8	○今までの学習をふりかえり、一番の「友達っていいな」と思う場面を選ぶ。 ○自分の選んだ「友だちっていいな」と思う場面を基にポスターをまとめる。	・文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。	☆「お手紙」を読んで、がまくんとかえるくんの関係をふりかえり、一次と比べて自分の考えが変わったり深まったりしたことを気付かせる。 ★文章の内容と自分の経験とを結びつけて、友達とは何かについて考え、自分の思いや考えをまとめている。 (発言、ポスター)
第三次	9	○「友達っていいな」と思う場面を選ぶために、同じ作品や場面を選んだ友達同士で話し合う。	・文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。	☆がまくんとかえるくんの二人の関係をふりかえりながら、場面を選ぶヒントにさせる。 ☆なぜこの場面を選んだのか、理由を明確にさせる。 ★文章の内容と自分の考えを結びつけて「友だちっていいな」と思う場面について話し合っている。 (発言、ワークシート)
	10 11	○自分にとって一番の「友達っていいな」と思う場面を、ポスターにまとめる。	・文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。	★文章の内容と自分の経験とを結びつけて、友達とは何かについて考え、自分の思いや考えをまとめている。 (発言、ポスター)
	12	○作ったポスターを友達に紹介する。	・文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。	★文章の内容と自分の経験とを結びつけて、友達とは何かについて考え、自分の思いや考えをまとめている。 (発言、ポスター)

6 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・よりよい「友達っていいな」と思う場面について発表し合い、自分の思いや考えをまとめることができる。

(2) 本時の展開 (6/12)

学習活動	指導事項	★評価 ☆支援
○前時までの学習をふりかえる。 ○学習のめあてを知る。		☆学習の流れを示し、見通しをもたせる。
ポスターにしたい「友だちっていいな」と思う場面をえらぼう		
○「かえるくんががまくんにお手紙を待つことをすすめている場面」を読み取る。 ○「友達っていいな」と思う場面について、自分の考えと友達の考えを比べるために話し合う。 ○「友達っていいな」と思う場面について、自分の思いや考えをまとめる。	・場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。 ・文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。	☆かえるくんのがまくんを励ます言葉や行動について考えさせる。 ☆かえるくんに励まされたがまくんの様子について考えさせる。 ★「友だちっていいな」と思う場面について登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げながら読んでいる。 (観察、発言、ワークシート) ★文章の内容と自分の考えを結びつけて「友だちっていいな」と思う場面について話し合っている。 (発言、ワークシート) 評価基準
○今日までに学習した「友だちっていいな」と思う場面から一番いいと思う場面を選ぶ。 ○次時の学習について、聞く。		<p>A: 友達の考えと自分の考えをくらべ、気づいたことをまとめたり、発表したりしている。</p> <p>B: 「友だちっていいな」と思う場面について、自分の思いや考えをまとめている。</p> <p>C: 「友だちっていいな」と思う場面についての自分の考えをまとめられない。</p>

評価基準A児への支援	評価基準B児への支援	評価基準C児への支援
☆友達の考えと自分の考えの違いや共通点から、さらに自分の考えを広げさせる。	☆記述した考えの良いところに印をつけ自信をもたせて発表をうながす。	☆登場人物の行動に着目させ、自分におきかえて考えさせることで自分の考えをもたせる。

8 資料

第2学年：単元で使用する本のリスト

書名	著者名	出版社	出版年
ふたりはともだち	アーノルド・ローベル	文化出版局	1972年
ふたりはいっしょ	アーノルド・ローベル	文化出版局	1972年
ふたりはいつも	アーノルド・ローベル	文化出版局	1977年
ふたりはきょうも	アーノルド・ローベル	文化出版局	1980年

計27冊

(※冊数は複本を含む。)

「ふたりはともだち」シリーズに掲載されている19作

作品名	作品名
はるがきた	そりすべり
おはなし	そこの かどまで
なくしたボタン	アイスクリーム
すいえい	おちば
おてがみよていひょう	クリスマス・イブ
はやく めを だせ	あした するよ
クッキー	たこ
こわくないやい	がたがた
がまくんの ゆめ	ぼうし
ひとりきり	